

2019年11月6日

マルチ・スズキ・インディア、豊田通商グループと インドで車両解体とリサイクルを行う合弁会社を設立

スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社（以下 マルチ・スズキ）は、豊田通商株式会社（以下 豊田通商）、豊田通商グループの子会社である Toyota Tsusho India Private Limited（以下 TTipl）とともに、使用済み車両の解体とリサイクルを行う合弁会社、Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limited（以下 MSTI）を設立したと発表した。MSTI への出資は、マルチ・スズキと TTipl を含む豊田通商グループがそれぞれ 50%ずつとなる。

1. 設立の背景

インドでは、自動車の保有台数は 4,600 万台、新車販売台数は年間 400 万台以上になるなど、自動車市場が拡大している。それに伴い、使用済み車両の回収、廃棄といった課題も顕在化しており、自動車リサイクルに関する法制化の準備が進められている。マルチ・スズキは、この使用済み車両に関する課題を解決するため、法制化に先立って、自動車解体・リサイクル事業を行ってきた実績を持つ豊田通商グループと合弁会社 MSTI を設立した。

2. 事業概要

MSTI は、ウッタル・プラデーシュ州のノイダ地区に車両解体及びリサイクル施設を 2020 年度中に設立する。MSTI は、使用済み車両の仕入れから解体、廃液の抜き取りなど環境に配慮した操業を行い、処理されたスクラップを素材として販売する。この施設は、MSTI の最初の施設であり、将来的には当該施設で月間 2,000 台の処理台数を目指し、今後インド国内に展開していく。使用済み車両は、マルチ・スズキ販売店だけでなく、直接個人のお客様からも回収する。

3. 今後の展望

MSTI 設立を通して、使用済み車両を適正に処理することにより、車両や部品の不法投棄を減らし、地球温暖化や土壌汚染・水質汚濁といった環境問題にも対応していく。

【新会社概要】

会社名	Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limited (MSTI)
所在地	ウッタル・プラデーシュ州のノイダ地区（ニューデリー近郊）
設立	2019年10月
従業員数	約50名
事業内容	使用済み車両の仕入れ・適正処理・加工、スクラップの販売